

平成24年9月

# スクールカウンセラーだより

～ 子どもと盗み ～

子どもとうそとの関係で、河合隼雄先生の著書の中からご紹介したいエピソードがある。ある子どもが、お友達のピストルのおもちゃをこっそりと持ち帰ったという。そのおもちゃを、こともあろうか自宅のポストに入れていたため、お母さんがそれを知ることとなり、慌てて相談にこられたという。お母さんは面談の中で、「戦いごっこや戦闘もののテレビ番組を見ることも禁じていたので、本当はこういったものが欲しかったのでしょうか。」と話されたとのことだが、それがほかならぬポストに入っていたことに着目、お子さんからのお手紙（メッセージ）とは受け取れないかと話しは深まり、「攻撃的なもの、荒っぽいものが我が家には足りなかったのでしょうか。」という考えに至られたという。  
（『子どもと悪』岩波書店）

子どもが物を盗ったとします。何を盗んだか、誰から盗んだか、すぐにバレてしまう盗みをしたときは、なにかのメッセージと考えることができるケースもあります。子どもの無意識の知恵に感心させられるときもあります。盗みは悪いということと同時に、そのメッセージを何とかキャッチしたいという気持ちでいることが大切だと思います。謝罪方法一つにしても、さまざまです。一番良い解決方法、というものはありません。この子どもにとってどうするのが一番良いのかを真剣に考える過程こそが、なによりもかけがえのないことなのかもしれません。

白鳳小学校 2学期のカウンセリング日

9月19日（水）・10月16日（火）・10月31日（水）

11月20日（火）・12月12日（水）

午前 9時 ～ 12時

.....  
カウンセリングを申し込みます。

月 日 時頃希望  
児童氏名 年 組 ( )  
保護者氏名 ( )

希望される方は点線で切り取り、封筒に入れて担任の先生までご提出ください。